

ニュースリリース

各位

株式会社 神明
代表取締役社長 藤尾 益雄

「東日本農産株式会社」への木徳神糧株式会社の 資本参加受入による3社合弁会社設立に関するお知らせ

この度、株式会社神明（以下「神明」）及び株式会社高橋商事（本社：北海道旭川市、代表取締役社長：高橋伸也、以下「高橋商事」）にて設立した合弁会社「東日本農産株式会社（以下「東日本農産」）へ木徳神糧株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：平山 惇、以下「木徳神糧」）の参画を受け入れ、東日本農産を3社による合弁会社に発展させることにいたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 東日本農産設立の経緯

当社は、基幹事業である米穀事業に加えて、無菌包装米飯や国内外での外食事業の展開、さらには青果物や水産品も含めた食に関わる多種多様なビジネスを展開しております。

基幹事業である米穀卸売事業では、調達面では生産者の高齢化や担い手不足、販売面ではコロナウイルスによる需要の伸び悩みにより、引き続き厳しい外部環境が続いております。同時に消費者ニーズも多様化しており低価格、高品質が一層求められております。また、我々神明は主食としての米の取扱いを得意とする一方で、原材料として米を工場にて加工する取り組みまでには至っておりませんでした。そうした背景から一層多様化する顧客ニーズに応えるため、また、米を原材料として活用する事業に参入するために特定米穀卸大手の高橋商事と本年7月に東日本農産を設立し、本事業への参入に至りました。

2. 合弁事業発展の趣旨

今回当合弁企業に参画する木徳神糧は、当社と並んで米卸業界で最大手の一角を担う企業です。また、明治15年創業で、弊社と同様に創業100年を優に超える業歴を誇る歴史のある企業でもあります。木徳神糧が本合弁に参画することにより、調達・販売網を一層強化することが可能となり、また、米穀卸売業界の影響力のある3社が連携していくことで多様な顧客ニーズに幅広く応えることができ、結果として米の原材料事業をより力強く発展させることができると考えております。

3.3 社合弁後の体制及び目標

3社での合弁設立後は3社の強みを生かし、強く連携して事業展開を行って参る所存です。体制としては、東日本農産の現経営陣に加え木徳神糧からも役員を受け入れ、関係の強化、事業運営の円滑化を図ってまいります。調達・販売面につきましては神明、高橋商事に加え、全国に調達・販売網を持つ木徳神糧が加わることで更なる事業展開を実現してまいります。また、高橋商事が有する米穀の選別に関する技術及びノウハウを本合弁企業に提供する事で、製品提案力と販売機能の強化を実現いたします。更に品質管理体制においても「FSSC22000」を取得する計画であり、今後より一層の高品質化を図ることで、顧客の幅広いニーズに応えながら3社の更なる事業の拡大、年間取扱量 28,000 トン、特定米穀業界No.1 の目標のもと邁進して参ります。

4. 東日本農産の概要

(1) 名称	東日本農産株式会社
(2) 所在地	栃木県栃木市千塚町 1710 番地 (本社・工場) ※千塚産業団地内
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 藤尾益造 (神明) 代表取締役社長 高橋伸也 (高橋商事) 代表取締役専務 三澤正博 (木徳神糧)
(4) 事業内容	米穀の仕入及び集荷 米穀の搗精及び精米 米穀の選別及び選別した米穀の販売
(5) 資本金	500 百万円
(6) 出資比率	神明 35.0% 高橋商事 32.5% 木徳神糧 32.5%
(7) 取扱量	28,000 トン/年 (予定)
(8) 本稼働開始	令和3年12月 (予定)

4. 木徳神糧のご紹介

(1) 名称	木徳神糧株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区神田小川町 2-8 木徳神糧小川町ビル
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 平山 惇
(4) 事業内容	米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業
(5) 企業理念	<ul style="list-style-type: none">・ 誠意と感謝の気持ちを持つ企業であり続けます。・ より高いクオリティを追求する企業であり続けます。・ 新しい価値を創造する企業であり続けます。
(6) 創業	明治 15 年
(7) 資本金	5 億 2,950 万円
(8) 年商	連結 1,176 億円、単独 1,118 億円 (令和元年 12 月期)
(9) 従業員数	連結 379 名、単独 271 名 (令和元年 12 月期)

5. 本件に関するお問い合わせ先

担当部署：株式会社神明ホールディングス 社長室

担当者：刑部、中井

電話番号：03-3666-3504



以上